

弟子屈町の地元小学生と一緒に魚類調査を行いました。



釧路総合振興局農村振興課は、平成24年10月3日（水）に弟子屈町立奥春別小学校児童（教員合せて25名）と魚類調査を行いました。魚類調査の現場は、地域用水環境整備事業（魚道整備）最栄利別（もえりべつ）地区で、平成23年度施工した魚道です。

本調査は、近隣河川に住む生き物とふれあい、農業農村整備事業と自然環境の関わりについて理解を深めてもらうことを目的に行われ工事着手した平成19年度と今年で2回目の実施となりました。



○当日、児童は地区担当者より魚道の設置目的や効果、（魚道を整備することにより、沢山の魚や水生生物が戻ってくる。）農業農村整備と環境整備の関わりについて学習したあと、低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）に分かれ、低学年は魚道部でチョウチョ網、高学年は魚道工上流部でサデ網を使い、各々ヤマメ、アメマス、ハナ

カジカ、スナヤツメ等の魚類を採取しました。



※ チョウチョ網で魚を採ってます。



※ サデ網で魚を採ってます。

採取後、児童達は、採取した魚を水槽に移して、直接手でふれたりしながら、魚の入った水槽を食い入るように眺めて観察していました。

観察後、採取した魚類を元の川に放流し、魚類調査を終了しました。



住みやすくなった！

